



書あり 師あり 友ありて

= 2学期の努力が次なる飛躍へ =

学校長 平田 高之

短い夏休みが終わり、いつもより早い2学期のスタート！Are you ready?
 新型コロナウイルス感染症対応の中ですが、2大行事に加えて、本来1学期に行っている修学旅行に、1日間だけですがトライやる・ウィークもあります。

3年生は、部活動は終わりましたが、いよいよ来春の自分の希望する進路実現に向け、学習との両立が必要となります。2年生は、まずは、部活動の中心として1年生を引っ張る立場となりますが、生徒会活動でも3年生から引継ぐこととなります。1年生は、中学校生活にも慣れたと思いますので、2年半後の自分の姿をイメージして、目標をしっかりと考える時です。

新型コロナウイルス感染症・熱中症対応で大変な中ですが、受け身ではなく、自分で困難を乗り越える力を身につけることができるチャンスだと思い、1学期と同じように、前向きに取り組んでほしいと願っています。終業式では、生徒たちに、

美術の□□□□の代わりに来て頂いた□□□□から、大蔵中での授業はどうだったか尋ねたところ、(□□□□は県立工業高校と、私立高校で美術の非常勤講師として授業をされています)、「こんな教えやすい学校はありません。生徒たちはとても素直で、ただ話をおとなしく聞いているだけではなく、言われた内容を考えて作業をしたり、質問をしたり、とても意欲的で、素晴らしい生徒たちでした。」と話して下さいました。

また、3年生を教えて頂い□□□□からも(長年明石で美術の教員をされていました)、「3年生はとても意欲的に授業を受けてくれ、とても授業を楽しくできました。こんな学校で勤めたかったです。」とまで言って下さいました。

「家族や大切にしている人や物を褒められると皆さんも嬉しいと思いますが、校長も非常に嬉しく、みんなのことを大変誇らしく思う」と話しました。(放送ですが)

3年生のマスゲーム委員の人たちは、体育大会に向け、3者懇談会の午後も連日熱心に練習に取り組んでいました。また、生徒会執行部も、マスゲームやスローガンのプラカードを作ってくれました。みんなのために一生懸命頑張ってくれている姿に頼もしく感じています。

以前からよく話をするのですが、74回生は一人一人の持っている力はすごいですし、他校から来られた先生方からもよく話しています。しかし、昨年度までは、素晴らしいリーダーがいるにもかかわらず、集団としてはまだまだ未成熟でした。それが、3年生になり、一人一人が意識を変えてくれ、その表情や仕草から、3年生らしさが漂うようになってきました。

この2学期で、さらに74回生がチームとして力を合わせることができれば、自分たちの限界を超え、**新たな大蔵中学校の歴史を刻んでくれると期待**しています。



3年生 最後の大会結果

「明石市総合体育大会」の代替大会である「明石市種目別大会」が、多くの3年生にとっては最後の公式大会でしたが、いくつかの競技は、連盟主催の大会が、この短い夏休みに行われ、大蔵中も頑張ってくれましたので、その結果と一部ですが3年生の雄姿を写真で紹介いたします。

- 東播オープン大会
 - バレーボール部 男子:2-1(稲美中) 0-2(氷丘中)
 - 女子:2-0(播磨南中) 0-2(江井島中)
 - 卓球部 男子:シングルスベスト16 □□□□ □□□□
 - 女子:シングルスベスト16 □□□□

- 明石ライオンズカップ中学生サッカー大会
 - サッカー部:2-0(大久保中) 22日(土)の準決勝に進出
- 全日本少年軟式野球大会代替大会明石予選 野球部:2-9(高丘中)
- 明石市夏季記録会(陸上部)

- 男子:400m1位 □□□□ 800m8位・□□□□ 1500m6位 □□□□7位 □□□□
 - 砲丸投2位 □□□□ 砲丸投5位・円盤投4位 □□□□4×100mR 4位
 - 女子:走幅跳2位 □□□□ 3位 □□□□ 8位 □□□□4×100mR 2位
- なお、吹奏楽部は残念ながらコンクール以外の各演奏会も、新型コロナウイルス感染症対応が難しいということで開催されませんが、10月25日(日)に定期演奏会を開催する予定です。

